

## 専門研修ワーキングチーム(社会的養護)から検討会への提案事項

### 第4回専門研修ワーキングチーム(社会的養護)での意見と論点等(資料1)より再掲

#### 【基本研修における「子ども虐待と社会的養護」について】

御意見	論点・方向性等	備考
<p>内容の①子ども虐待と影響などにおいて、DVの影響が抜けている。基本研修においても、内容等に「DV」を明記してもらいたい。</p>	<p>専門WTとしての意見として、子育て支援員研修修了者が理解しておくべき基本的な内容として、検討会に提案してはどうか。</p>	

### 第3回専門研修ワーキングチーム(社会的養護)での主な意見と論点等(第4回専門ワーキングチーム資料1)より抜粋

#### 【子育て支援員研修制度修了者の権利擁護について】

御意見	論点・方向性等
<p>子育て支援員研修修了者として補助的業務を行う者の権利擁護について学ぶ機会が必要。子どもの対応で傷ついたり、施設等職員からの言動で傷いた場合などの苦情解決やスーパーバイズを求めることができることを学ぶべき。</p>	<p>現時点では、「子育て支援員研修修了者の権利擁護」と明示されていないが、専門WTとしての意見を集約し、子育て支援員研修修了者が理解しておくべき基本的な内容として、検討会に提案。</p>
<p>子育て支援員研修修了者が補助的業務を行うにあっても、チームケアやチームワークが必要であることを理解しておく必要がある。これは子育て支援員研修修了者にも、それを活用する側にも同様の認識が必要。</p>	

#### 【研修対象者について】

御意見	論点・方向性等
<p>大学生の受講は可能としたい。 大学生が本研修を受講し、補助的職員として社会的養護の支援者を経験することにより、将来の進路選択において、社会的養護の支援者を選択することを促進することができる。</p>	<p>御意見も踏まえ、検討会に専門WTの意見として提案。 その後、ガイドラインに活用モデルなどの提示をしてはどうか。</p>
<p>社会福祉士、嘱託医、看護師、保育士なども、社会的養護についての知識や経験が不足していると感じ、その習得を希望する者についての、受講を可能とし、専門職にも社会的養護についての学びの機会を提供することが望ましい。</p>	
<p>新生児里親(新生児の委託を受けることができる里親)の育成が必要であり、里親研修の充実が必要である。併せて、地域に新生児里親を含む里親を支援する人材が必要。本研修受講者を里親の補助者として位置付け、活用してはどうか。</p>	
<p>ひとり親家庭の貧困、再就職の課題に対し、母子生活支援施設に入所している母親や地域に暮らしているひとり親家庭の親が本研修を受講することで安定した仕事につくことをサポートできる。</p>	